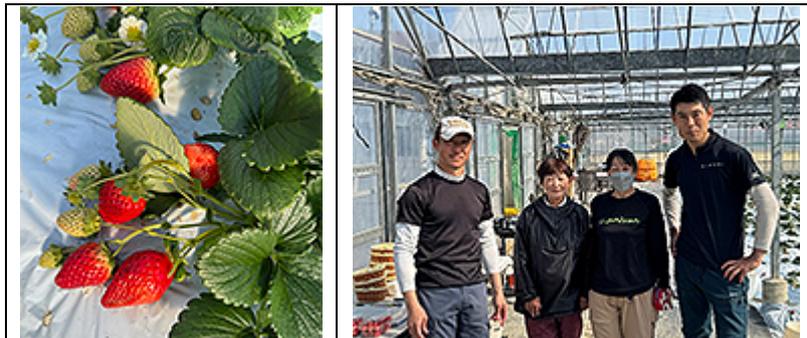




2026年3月号

発行: 国際ビジネス情報協同組合

2月後半は温かく、3月を迎えました
あちこちで可憐な梅の花を見かけますが
もうすぐ桃の花が咲き、次はいよいよ桜です
桜の前に花より団子ではないですが…イチゴ狩りなんて如何でしょう



先日、イチゴ狩りに行ってきました
和歌山特産の「まりひめ」をはじめ
「べにほっぺ」「さちのか」「スターライト」の食べ比べができます
一般社団法人 貴志川いちご狩り園
0736-64-7212 (予約が必要です)

大人(18歳以上) 3,300円・中高生 3,000円・小人(3歳以上～小学生) 2,500円・0～2歳無料

平日は500円引き、制限時間は1時間です

ちなみに筆者は暫くイチゴを見たくないぐらい食べました(笑)

皆様も食べてみてください♪

～3月掲載内容～

- *外国人実習生
- *51回衆議院選挙(2026.2)
- *中国～対日姿勢
- *米国
- *中国経済
- *第25回 冬季五輪
- *紀伊半島～熊情報
- *ロケット「カイロス3号機」

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

外国人実習生

【インドネシアを知ろう】

ラマダンってご存知ですか？

ラマダンとはムスリム(イスラム教徒)が約1ヵ月の間、生活を引き締めて過ごすために行う断食のことで大切な季節行事のひとつです。

主に太陽が出ている日中に飲食を控え空腹や不便さを体験し、我儘な心や怒りの気持ちを抑え自分自身を見つめ直すと同時に、困っている人々の気持ちに寄り添い、分かち合いの精神を育てることを目的としています。つまり「ラマダン=我慢」ということではなく、精神を鍛えることや日頃の行いを改め直すという意味合いが大きい行事なのです。

ラマダンの時期を決めるのはインドネシア宗教省が月の満ち欠けを基準とする太陽暦を基準とし、新月(三日月)の観測結果で毎年発表しています。日本の暦(太陽暦)とは異なり、毎年その時期が変わります。

期間中の過ごし方は太陽が昇る前(夜明け前)に食事を摂り、日中は飲食を控えて日没後に夕食を摂るのが一般的です。そのため、ラマダン期間中の夕飯の時間帯は帰宅時の買い物や、食事の準備が重なって街中が混み合い、屋台や市場も大勢の人たちで賑わい大渋滞が起こるほどです。

今年は2月19日がラマダン開始日とされ、3月21頃が断食明けの祝日(レバラン)となっています。日本人には苦行に見えたとしてもイスラム教徒の人々にとっては大切な時期なのです。

断食明けのレバランですが、簡単に言うと故郷に帰り家族や親戚とお祝いしながら、約1ヵ月間のラマダンを無事に終えたことをお祝いする連休のことです。多くのイスラム教徒の人々はラマダンを終え故郷に帰ります。まるで日本のお正月やお盆にも近い一大イベントのような期間です。そのため、レバラン期間中は大規模な規制が始まり都市で働く人々が一斉に故郷へ帰るため、鉄道や飛行機などの交通網が大混雑し物流なども乱れがちになります。



ケトゥパット



オポル・アヤム

故郷に帰って朝の礼拝を行い、その後は親族や近所への挨拶回りをするのが一般的で、親族や職場の人たちで集まりケトゥパット(葉で包んだご飯)やオポル・アヤム(ココナッツミルクで煮た鶏料理)などの定番料理を囲み、楽しい時間を過ごすそうです。

【見学のご案内】

2月下旬、インドネシアから27名の技能実習生が来日し、和歌山の企業様で受入れが決まっています。



来日後の約1ヵ月間は当組合で日本語の実践的なトレーニング、交通や防災などの講習、そして外国と日本の言葉と習慣の違い、日本での生活に慣れたもらう事が大事だと考え日本の文化や習慣を学んで頂きます。

まだ実習生を受け入れていない企業様、外国人材の雇用を検討されている企業様には実習生たちを直接見て、お話して頂きたいと思えます。

各国の実習生と直接お話いただくことで、その国のことを知っていただけます!!

期 間	3月2日(月)～3月18日(水)
時 間	10時00分～17時00分
場 所	国際ビジネス情報協同組合 研修室

上記期間内で見学が可能ですので、ご予約の上ご都合の良い時間でお越しください。

外国人材に関することなら何でもお問合せ下さい

073-476-3939 組合事務局

51回衆議院選挙(2026.2)

衆議院 465 全議席が決まりました。

その結果自民党が 316 議席を獲得、単独で衆議院定数の 3 分の 2 を上回り圧倒的大勝利となりました。

	自民	維新	中道	国民	共産	れいわ	減ゆう	参政	保守	社民	みらい	無所属	合計	定数
当選	316	36	49	28	4	1	1	15	0	0	11	4	465	465
(増減)	118	2	-118	1	-4	-7	-4	11	-1	0	11	-11		
小選挙区	249	20	7	8	0	0	1	0	0	0	0	4	289	289
比例	67	16	42	20	4	1	0	15	0	0	11	—	176	176
公示前	198	34	167	27	8	8	5	2	1	0	0	15	465	465

立憲民主党と公明党が結成した中道改革連合は、解散前の議席数である 167 議席から 118 議席減らした 49 議席となり惨敗、国民民主党は 28 議席で 1 議席増、参政党は比例で 15 議席を獲得しました。チームみらいは初めての議席を確保し比例で 11 人が当選しました。

【自民党の躍進 (高市内閣)】



単独の党で衆議院の 3 分の 2 議席を得るのは戦後初めてで、2009 年の衆院選で政権交代が起き民主党が得た 308 議席や、64.2% の議席占有率の記録を上回りました。また自民党の過去最多は 1986 年の 300 議席でした。

3 分の 2 議席を獲得すると何が出来るのか…まず参院で否決された法案でも衆議院で再可決して成立させることができる、次に憲法改正の議論がし易くなる、発議は衆参議員の 3 分の 2 が要件。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【中道改革の敗退】



中道は議員数を減らしただけでなく、安住淳共同幹事長や岡田克也元外相、小沢一郎元民主党代表、枝野幸男元立民代表が敗退しました。

母体となった立憲民主党と公明党で明暗を分け、公明出身者は候補全員が当選確実となり、2024年の衆院選を上回る28議席を獲得しました。立民出身者は公明より少

ない21議席しか獲得できませんでした。

公明出身候補が全11ブロックの比例代表で名簿の上位を独占したことで議席増、近畿・中国・四国・九州では上位優遇した公明系だけで当選枠が埋まりました。しわ寄せを受けたのは立民出身者で惜敗した候補でも比例復活できないケースが続出しました。

中道はこれほどまでに敗退したのか…中道は立憲民主党と公明党の衆議院議員が合流して選挙前に結成された新しい政党です。選挙戦では公明出身の候補者が小選挙区から撤退して比例代表でも上位優遇を受ける代わりに、小選挙区では立憲出身の候補者を支援して議席の最大化を狙いましたが、この目論見が裏目に出て選挙区で出馬した立憲出身の候補者は苦戦し、比例で上位優遇を受けた公明出身者は軒並み当選しました。結果として旧公明党の候補者は何の被害も受けず、被害者は旧立憲出身者でした。

旧公明党は水と油の高市政権の自民党から離脱し旧立憲民主党と仲良しになりましたが、元々理念が違う野合だったのです。参議院に中道から立憲民主党と公明党の合併に呼び掛けしているようですが立憲が嫌がっている模様です。

【筆者】

自民党、危機対応能力を前面に勝利、不安の時代に安定感を訴求。

令和8年2月に行われた衆議院選挙で自民党が議席を伸ばし勝利した理由は、物価高や安全保障環境の緊迫化など先行き不透明感が強まる中、有権者が変化よりも安定と即応力を重視したことが結果に繋がったのではないだろうか…。

最大の要因は危機対応を前面に出した明確なメッセージ戦略です。中国・台湾情勢や防衛、エネルギー問題など…判断の遅れが許されない争点について、自民党は「抑止力強化」「政府主導でも即断」を強調し、立場の分かり易さが有権者に安心感を与えました。

また、自民党は大幅な制度転換よりも生活防衛を重視した現実路線を提示、給付や負担軽減策を打ち出し守るために必要な改革に焦点を絞ったことで、急進的変化への不安を抱く無党派層を取り込みました。野党側が政権交代後の具体像を十分に示せなかったことも自民党に追い風となりました。中道勢力は政策論では存在感を示しましたが、危機時の意思決定大成や指導力の訴求が弱く「任せきれない」との評判が広がりました。支持の多くは熱狂的というより「他よりも安定している」という消極的支持だったのではないのでしょうか!?

今回の選挙結果は自民党への積極的評価というより、不安定な国際情勢と生活不安の中で有権者が現政権の継続を選んだ結果と言えそうです。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【米国の評価】



トランプ大統領は「力による平和の政策実現を望む」と祝意を述べました。

米国では安全保障分野での路線維持は台湾海峡を含むインド太平洋情勢が緊張を増す中、日米同盟の即応性を確保するという点で歓迎されています。

高市首相の強い発信力についてワシントンでは評価が分かれ、防衛力強化や抑止力を重視する姿勢は信頼できるパートナーとして好意的に受け止められる一方、国内世論との摩擦や周辺国との関係悪化を招く可能性については、注意深く見守る必要があるとの声も出ています。

【中国の評価】



9日の記者会見で林劍報道官は「日本の政権には国際社会の懸念を無視せず直視し、軍国主義の過ちを繰り返さずに平和的な発展の道歩み、中日間の4つの政治文書を順守し信義に背くことがないよう求める」と述べました。

高市首相体制が継続する見通しとなったことについて、日本の安全保障路線の行方を強い警戒感をもって見ていることは間違いないでしょう。

【台湾の評価】



中国による脅迫的な行為が有権者の投票行動に影響を及ぼしたとの分析を示しています。

8日、台湾の頼清徳総統は自民党が単独過半数の議席を確実にしたことを受け「高市早苗首相、衆院選での勝利を心よりお祝い申し上げます」とX(旧ツイッター)に日本語でコメントしました。

【韓国の評価】



9日、李在明大統領は自身のX(旧ツイッター)に「衆議院選挙における勝利を心よりお祝い申し上げます」とコメント。

日韓関係について「私と総理の絆を基盤に信頼を積み重ね、より広くより深い協力関係を築き上げていくことを期待している」「首脳が相互往来するシャトル外交を通じて近いうちに総理を韓国にお迎えできることを心より楽しみにしている」と強調しました。

【欧州の評価】



8日、欧州連合(EU)のフォン・デア・ライエン欧州委員長は衆院選での自民党の勝利を受け「高市早苗首相(自民総裁)の画期的な勝利に心からお祝い申し上げる」とX(旧ツイッター)にコメント。

日本とEUの戦略的協調関係をさらに深めたいと意欲を示しました。

【ロシアの評価】



東京選挙区に出馬し当選した参政党の新人、さや氏(本名:塩入清香 しおり さやか)がロシアの通信社スプートニクのインタビューにコメントしました。

スプートニクはロシア政府が政治的に活用しているとの疑惑があり、参政党は「日本人ファースト」を掲げ外国人規制の強化を公約しています。さや氏もインタビューで日本の伝統を守る重要性を強調しました。スプートニクが同党を取り上げることで、外国人との共生を重視する層との世論の分断を煽ったとの見方があります…与野党から外国の選挙介入疑惑に警戒感。

【衆議院本会議で施政方針演説】



高市首相は施政方針演説の冒頭、その決意を「信以て義を行い、義以て命を成す」と表明しました。

「信以て義を行い」とは「自分を偽らずに誠実に人として正しい道理を実践すること」、「義以て命を成す」とは「正しい道を行うことで使命を全うすること」をいいます。

要するに、人々の信頼を基礎として正しい道徳的な行動をとり、正しい行動をつみかさねて自らに与えられた使命(責任)を果たすと決意表明したのです。

施政方針演説のポイントは次の通りです。

■ 社会保障

- ・ 社会保障改革に国民会議を設置
- ・ 消費税減税で早期に法案提出
- ・ 給付付き税額控除制度の設計

■ 財政予算

- ・ 本丸は「責任ある積極的財政」…世界が産業政策の大競争時代にあるなか、経済成長を実現するために必要な財政出動を躊躇うべきではない

- ・危機管理・政党投資は多年別枠で管理

危機管理・成長投資について多年度で別枠管理する仕組みを導入すると打ち出しました。投資を上回るリターンを通じて国内総生産(GDP)の成長に資すると主張。

■働き方

- ・裁量労働制などの見直し

副業・兼業にあたっての健康確保措置の導入、テレワークなどの柔軟な働き方の拡大を進める。

■外交安保

- ・責任ある日本外交の展開
- ・インテリジェンス機能の強化

2026年ちゅうの安全保障関連3文書改訂、インテリジェンス(諜報(スパイ)・分析)機能の強化にも取り組む。スパイ防止法を念頭に外国からの不当な干渉を防止するための制度設計を進める。このため内閣情報調査室を国家情報局に格上げし、関係機関からの情報を集約し活用。

- ・憲法改正の早期は発議に期待

自国民と日本維新の会の連立与党は衆院で憲法改正の発議に必要な3分の2以上の議席を占める。「国会における発議が早期に実現されることを期待する」と言及しました。

■共生社会の実現

- ・外国人との秩序ある共生社会

一部の外国人による違法行為やルールの逸脱に対し、国民の皆様の不安や不公平などの問題に毅然と対応する。

中 国 ～対日姿勢

高市政権に圧力

2月24日、中国商務部は軍民両用(デュアルユース)品目について、中国の輸出管理法及両品目輸出を禁止したと発表しました。防衛や宇宙関連企業が中心で事実上の禁輸措置となります。

対象は三菱重工業、川崎重工業、IHI、富士通などの子会社の他、ジャパンマリンユナイテッド(JMU)、防衛大学校といった20の防衛関連企業・団体で、海外の組織・個人が中国原産品を当該企業へ移転することも禁止すると発表しました。

日本に対する圧力を強めてきたのは、中国の米国や韓国、欧州などとの関係改善が背景です。

欧州は25年12月のマクロン仏大統領に続きスターマー英首相やアイルランドのマーティン首相らも訪中し、2月25日にはドイツのメルツ首相が訪中しています。これは米国トランプ大統領としっくりいっていないので、欧州が中国との連携強化に動いているのです。

1月には韓国の李在明大統領も訪中しており、米国は3月末にトランプ大統領が訪中予定です。

中国は欧米や韓国とうまくいっているので日本を叩く良い機会だと捉えているのです。その背景には…中国とすれば高市首相の台湾に関する発言で、習近平主席の台湾に対する革新利益を損なうという危惧からでしょう。中国は日本政府に圧力を掛けたのですが、応じないと見るや今度は経済分野に威圧を移したのです。

1月6日にレアアースの中でも希少性の高い重希土類の輸出規制を念頭に、日本への輸出規制を強化すると発しましたが、今回さらに個別の有力企業を特定して圧力をエスカレートさせたのです。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【筆者】

中国のレアアース輸出規制に対し、政府の対策や新資源の発見で「脱中国は成功した」という楽観論が広がっています。

1月12日、片山さつき財務相は米ワシントンで行われたG7の財務相会合で、有志国で連携してサプライチェーンを整備し中国への依存度の引き下げを加速させることで一致、また同日には海洋研究開発機構の地球深部探査船「ちきゅう」南鳥島の南東沖約150kmの海底にはレアアースを含む泥があることが分かっており、その埋蔵量は1,600万tにも及びます。これがもし商業化されたら中国依存度から脱却できるかも知れないと期待されています。

中国の輸出規制前から備えて既にオーストラリア、フランスに投資しており、重レアアースに関しては昨年10月からはオーストラリアからの輸入が始まっています。また、大手商社は中国以外の海外からの調達ルート確保に動いている他、レアアースを使わない技術の開発・性能向上に力を注いでいます。

これらは嘘ではないにせよ、楽観できると言えるでしょうか…。このようになれば良いという報道に日本人は「うれしい」「やっぱり日本の技術は素晴らしい」と思うでしょう。しかし冷静に考えてみてください、海底6,000mの泥をさらって精製して商品化するための費用や時間がどのぐらい掛かるのか、精製技術はあるのか、精製にはレアアースの分離技術、環境汚染、放射性物質など、これに伴うコストなど…多くの問題があります。米国ですら自国で採掘したレアアースの3分の2をわざわざ中国に輸出して精製したものを逆輸入しているという事実を知らなければなりません。筆者を中国びいきか媚中派かと思うかも知れませんが、決してそうではありません。

報道では日本万歳、素晴らしいとの報道が喜ばれますが、我々はともすれば敵を過小評価する癖がありますが「敵を知り己を知れば百戦危うからず」の心持が今必要なのです。

中国はその規模も精製能力も圧倒的に勝っています、世界のレアアース精製の約85%を握っており、中国都市部の発展やハイテク分野の最新技術を見たら日本が抜かれているのは明らかです。この事実を噛み締め日本が技術大国だ…なんて喜んでいるのであれば平和ボケのアホです。しっかりと現実を受入れて調達先の多角化(欧州・マレーシア等)レアアースを使用しない技術開発、リサイクルの促進、備蓄強化、WHO(世界貿易機構)などを通じ、中国に対し国際連携を図っていかねばなりません。高市首相!! ガンバレ!!!

米 国

2026の上院議員の3分の1、下院議員全員が改選となり、また任期満了となる州知事などの選挙が、大統領が就任してから2年経過した時点で行われる所謂中間選挙が行われます。トランプ大統領は米国内に誇示する成果を見せようと何かとギクシャクしていた米中関係を、3月末に訪中し習近平国家主席との首脳会談に臨みます。

【EU・米国・中国関係】

ざっくり言うと中国・欧州(EU)・米国3者の関係は、米中の激しい対立を軸として米欧の不協和音を利用して、中国が欧州に接近し絡み合っています。

【米国と中国】

- ①関税と貿易：米国は対中「恒久的最恵国待遇」の取消しに向けた影響調査を開始しており、貿易制限をさらに強める動き
- ②サプライチェーン：米国は経済安全保障の観点から先端技術やEVなどの分野で、中国とのデカップリング(切り離し)を推進

③地政学：台湾問題や軍事力の拡大を巡り、安全保障上の緊張

【欧州と米国の関係】

- ①トランプ政権：米国の世界一律関税構、安全保障面での負担増要求し、欧州諸国は強い警戒感と不信感
- ②安保上の対立：米国内から欧州の脅威を指摘する声上がる一方、欧州側は米国の決議案(ロシア撤退関連)への反対勢力などに強く反発しています。
- ③貿易協定の停滞：欧州議会は経済面でも摩擦
(米国との貿易協定の承認を停止・凍結する方針)

【中国と欧州の関係】

中国は米欧間の隙を突く形で応酬との関係修復・強化を図っています。欧州首脳が相次いで訪中、中国側が米国主導の対訪中包囲網の切り崩しをはかり、EUは中国製EVに対する追加関税を発動。

平たく言えば米国と欧州の仲が悪くなってきていることを利用して中国は欧州に接近、またこれを利用して米国にも接近しようとしているのです。米国もまた米国内の中間選挙のために点数稼ぎしたいトランプ大統領に接近しようとしています。

中国にとっては欧州・米国との交渉には不要で、革新的利益である台湾に踏み込んでいるとの考えから日本に対し圧力を掛けてきています。

【日本へは】

高市早苗首相が率いる自民党が衆議院選で大勝、しかし中国の対日政策はエスカレートし強硬姿勢です。中国は欧米とは対照的に2月14日、ミュンヘン安全保障会議での王毅共産党政治局員兼外相演説後の質疑で、高市首脳の2025年11月の台湾有事を巡る国会答弁を改めて批判しました。「日本は台湾への侵略と植民地化の野心をいまだに抱いている」、自民党が衆院選で圧勝したことを念頭に「日本国民は極右勢力に引きずられてはならない」とも言明し、日中関係は最悪な状態です。

【中国は】

米国と利害一致、EUと米国の貿易などで利害一致、日本とは断絶するとみてほぼ間違いありません。技術と資金を貰った後は必要ないとの考えか…。

中国経済



今年は2月17日から3月3日が春節(旧正月)で、過去最大の9連休で消費が盛り上がるだろうと期待が集まっています。各地で花火があげられ爆竹で不況を吹っ飛ばし、当局は国民の鬱憤とストレス解消の為か花火を解禁しています。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【不動産不況の出口】

爆竹や花火とは裏腹に深刻な不動産不況の出口が見られません。2025 年末時点で建設中の住宅在庫は販売面積に対しておよそ 5 倍という高水準で推移しています。不動産価格の下落で需要が低迷する中、在庫が積みあがっているのです。

少なくとも最低 2 年、2027 年までは調整局面が続く…と大方の予想です。

習近平政権は都市ごとの状況に応じた新規供給の抑制や在庫削減に取り組む方針を改めて打ち出しました。それは 2024 年から実施している在庫住宅を地方政府が買い取り、中低所得者向けの住宅に転換する政策の奨励です。ところが、この主体の地方政府が財政難に陥っているため中央銀行の中国人民銀行などによる金融支援が十分でないのです。中央政府は地方政府に丸投げしているため効果が上がっていません。

【こんな状態】

大連に行ったことのある人は勝利広場の地下で偽物を買ったことがあるでしょう、現在では小売店がなくなり、太平洋百貨店が百貨店ではなく娯楽場になっているという…。不動産も 10 年以上前と同じ価格だという。

経済、政治、文化で最上位の都市グループを指す 1 級都市(北京・上海・広州・深圳)では、現在も値上がりしたままですが、それ以外の南京・蘇州・武漢・成都・大連では下落しており、売値が従来の高いままですが取引が非常に少なくなっています。

【節約志向】

中国では家計資産の 7 割超を不動産が占めると言われています。住宅価格が下げ止まらなければ逆資産効果で消費の拡大は見込めないとわざとを言わざるを得ません。こうなると節約志向の強まりから消費降級(消費のダウングレード)となり、消費者は海外からの輸入品ではなく国内ブランドの安価な商品を購入、客単価の高い飲食店は閉店を余儀なくされ、北京市の飲食店が 2024 年に稼いだ利益は前年から 8 割減、上海市(宿泊業を含む)も 3 割減で都市部でも消費の低迷が鮮明です。

【筆者】

習近平国家主席は自身の保身のみを考え、汚職という材料で次に自身の身にとって代わろうとする者を粛清してきました。賄賂は中国の悪しき伝統であり、役人は誰でも賄賂まみれです。

保身のために経済対策に優れた前李克強首相を蔑ろにして退任させ、68 歳の若さで上海のプールで暗殺されたとも言われています。習主席は経済音痴とまで言われています。

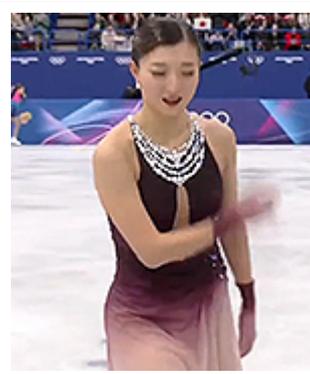
なるほど、中国は強権でなければ世界第 2 位の 14 億人を超す人々と広大な領土を統治できませんが、強権の弊害も多く注意深い観察が必要です。

第 25 回 冬季五輪

2 月 22 日夜、(日本時間 23 日未明)イタリア北部ベローナで閉会式が行われ、17 日間の熱戦に幕を下ろしました。

日本選手団は金 5・銀 7・銅 17 と合計 24 個のメダルを獲得しました。獲得数が最も多いのはノルウェーの 41、米国 33、イタリア 30、ドイツ 26、日本は世界第 5 位で、冬季五輪の最高記録を更新しました。日本はメダル獲得だけではなく世界中を興奮の坩堝と化しました。

選手たちには「生き甲斐や目標を持って戦う姿はカッコイイ!! 日本代表の皆さん、本当にお疲れ様でした」



予想以上に盛り上がったミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック、一生懸命の姿、感動の演技、興奮のシーン、熱い表情…どれをとっても素晴らしい2週間余り…

私たちに沢山の感動を与えてくれて本当にありがとう!!

紀伊半島～熊情報



くまっちゃん～なんて言っている場合にはありません…命に係わりますからね!

紀伊半島(和歌山・奈良・三重)に希少なツキノワグマが生息しています。かつては絶滅寸前でしたが、近年では個体数が増加し2024年度の調査で推定467頭に達しています。和歌山県では従来の保護政策から殺処分を含めた管理政策へ転換しました。

クマの殺処分については賛否両論がありますが、昨年の熊による死傷者が200人以上で、死亡者数も10人以上となっています。可哀想ですが仕方がないのが現状です。



令和8年2月9日、紀美野町今西地区の今西橋付近(貴志川河川の南側)の道路で、熊の足跡が発見されました。足跡は南側の山中に向かった痕跡が残っています。町では痕跡調査を行い、9～21日にかけて巡回しましたが、新たな熊の痕跡は確認できませんでした。

2025年11月、橋本市では県境付近でツキノワグマの目撃情

報があり注意が必要です。特に玉川峡谷など高野山麓周辺の山林や国道沿いで目撃されています。山間部や川沿いへ入る際は鈴やラジオで音を鳴らす、朝夕を避けるなどの警戒をして下さいと言いたいところですが、果たして鈴やラジオで効果があるのか分かりません、命に係わるので出来る限り熊が出没しそうな場所には近寄らないことです!!

皆さま、くれぐれもご注意下さい!

ロケット「カイロス3号機」



3月1日 打上げ予定

2月27日、宇宙事業会社スペースワン(東京都港区)は悪天候で延期していた小型固体燃料ロケット「カイロス3号機」の打上げを3月1日午前11時に和歌山県串本町のロケット発射場「スペースポート紀伊」で実施すると発表しましたが天候の都合で延期されました。